

# 令和3年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 引野 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語、数学)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、数学)

##### 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

#### (2) 生徒質問紙調査

##### 生徒質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学)の結果

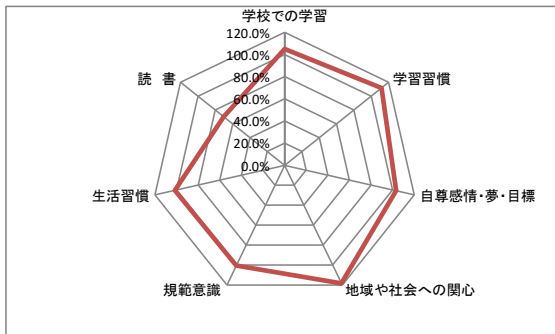
本年度の結果	国語		数学	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	8.8	55
全国	9.0	65	9.1	57

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	正答数が極端に低い生徒がおらず、中間層の生徒が多いので、全国平均を上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	書くこと、読むこと	
	努力が必要な問題	問題形式では、選択式の問題の正答率がやや低かった。	

数学	全体的な傾向や特徴など	正答数が極端に低い生徒がおらず、正答数の高い生徒が多かったので、全国平均を上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	どの領域もよくできていた。	
	努力が必要な問題	問題形式では、記述式の問題の正答率が選択式、短答式の問題の正答率に比べ、やや低かった。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>読書については、学校で1日10分間の朝読書に取り組んでいる。それ以外の家での読書に取り組んでいない生徒が多いと考えられる。</p> <p>地域や社会への関心が高く、地域の行事によく参加している。将来、生徒たちが、地域の活動の担い手になることを期待したい。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

自信をもって問題に解答ができるよう正確な知識を身に付けさせる取組。  
普段から記述式の問題に取り組むような授業の工夫。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

土日のどちらかで、30分程度の家での読書を推進する。